

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和5年度～令和9年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（しりべしいぶり） 後志胆振森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央から南西部に位置する倶知安町を含む後志森林管理署管内の3市10町4村に所在する約130千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、火山や湖沼、森林など自然美に富んだ景勝地が多く、火山によって生じる様々な自然現象にふれることができる支笏洞爺国立公園、ニセコ連峰や神仙沼など名所が集まるニセコ積丹小樽海岸国定公園及び道南最高峰の狩場山を中心とする狩場茂津多道立自然公園などを有するとともに、スキー場や温泉が豊富にあることから、観光地として1年を通して多くの人々に利用されている。</p> <p>ブナ自生地北限地帯である黒松内町の歌才地区は希少個体群保護林に設定し、自生するブナの生育に必要な森林の保護・管理を実施している。周辺地域においても健全なブナ林への復元を図り生物多様性の確保に資するよう自然環境に配慮した施業が求められる。</p> <p>また、水源涵養や災害防備を主な目的として本計画区の国有林野面積の約96%が保安林に指定され、地域の水源林として農業や沿岸漁業が盛んな日本海及び噴火湾の漁場の保全に資する観点から地域の資源保全に重要な役割を果たしているほか、有珠山などの火山を有していることや急峻な地形が多いことから、山地災害防止機能の発揮も期待されている。</p> <p>森林の現況は、人工林面積が約16千ha（主な樹種は、トドマツ(78%)、カラマツ(17%)）、天然林面積は約100千haを有し、森林の蓄積は北海道の平均151m<sup>3</sup>/haに対して94m<sup>3</sup>/haとなっている。このうち人工林は齢級構成が11齢級をピークとする一山型であり、10齢級以上が約81%を占めている。</p> <p>これらのことから、多面的機能の持続的発揮を図ることができる多様な森林づくりのほか、適切な間伐や主伐後の確実な更新、林地保全に配慮した森林づくりの実施など、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>さらに、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システム、伐採と造林の一貫作業システム、低密度植栽、コンテナ苗植栽などによる造林及び保育の低コスト化の取組を推進することにより、流域における林業の成長産業化の実現に向けて国有林の役割を継続的に果たすことが求められる。森林整備にあたっては、寿都町、振興局、森林組合、漁業協同組合の林業及び漁業の関係5者の間で締結した寿都地域森林整備推進協定に基づく着実な間伐等の実施など民有林と連携した効率的な取組が重要となる。</p>		

	<p>このため、本事業ではこれまでの評価結果を踏まえ、地域の期待に応えるためにも、森林の有する公益的機能を持続的に発揮するために必要な森林整備及びこれらを効率的に推進するための路網整備を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>396ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,739ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>47.60km</td> </tr> </table> </li> <li>・ 総事業費 3,517,273千円（税抜き 3,197,521千円）</li> </ul>	森林整備	更新面積	396ha		保育面積	5,739ha	路網整備	開設延長	47.60km
森林整備	更新面積	396ha								
	保育面積	5,739ha								
路網整備	開設延長	47.60km								
費用便益分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td>15,858,762千円</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td>4,108,688千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B／C）</td> <td>3.86</td> </tr> </table>	総便益（B）	15,858,762千円	総費用（C）	4,108,688千円	分析結果（B／C）	3.86			
総便益（B）	15,858,762千円									
総費用（C）	4,108,688千円									
分析結果（B／C）	3.86									
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考えます。</p>									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 水源地の保全及び基幹産業の農業・漁業や沿岸部の漁場保全に資する観点から、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の発揮や、貴重な自然環境を有し観光資源の維持保全や生物多様性の保全にも貢献することからも、保健文化機能をはじめとした多面的機能の維持増進が求められている。また、森林資源の本格的な利用期を迎え、効率的な森林整備の実施により林業・木材産業の振興などに寄与するため事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 今後の森林施業を見据え、利用区域内における施業の優先度を勘案した路網整備が計画され、高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着、伐採と造林の一貫作業などによる伐採再造林の経費縮減の観点からも、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 計画的で効率的な本事業の実施により森林の有する多面的機能が持続的に発揮され、地域の基幹産業である農業の振興や漁場の保全、地球温暖化防止等に寄与し引き続き効果の発現が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されていると認められる。</p>									

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：北海道

施行箇所：後志胆振森林計画区(後志森林管理署)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,147,839	
	流域貯水便益	1,164,004	
	水質浄化便益	4,270,340	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,881,039	
環境保全便益	炭素固定便益	794,664	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	76,157	
	木材利用増進便益	189,038	
	木材生産確保・増進便益	456,310	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	112,661	
	森林整備促進便益	1,766,710	
総 便 益 (B)		15,858,762	
総 費 用 (C)		4,108,688	
費用便益比	$B \div C = \frac{15,858,762}{4,108,688} = 3.86$		

# 森林環境保全整備事業 後志胆振森林計画区 事業概要図 (後志森林管理署)



## 森林整備

更新面積 396 ha  
保育面積 5,739 ha

## 路網整備

開設延長 47.6 km



凡 例	
国 有 林	
主 要 山 岳	
鉄 道	
森林計画区界	
市 町 村 界	
振 興 局 界	
森 林 管 理 署	